

自動車騒音調査結果

1. 目的

自動車騒音対策を計画的総合的に行うために、騒音規制法第18条の規定に基づき自動車騒音の調査を行いました。

2. 内容

評価路線 5路線

(一般国道42号、一般国道259号、田原高松線、六連三河田原停車場線、蔵王山線)

シミュレーションによる評価戸数 1,582戸

3. 結果

ほとんどの住居で、昼間・夜間ともに基準値を下回っていましたが、一部の住居で基準超過がみられました。

路線名	測定年月日	車線数	評価区 間延長 (km)	測定地点	測定地点の環境基準 類型	測定結果(dB)		評価対 象戸数 (戸)	昼間・夜間 ともに基準 値以下の戸 数(戸)	昼間の み基準 値以下 の戸数 (戸)	夜間の み基準 値以下 の戸数 (戸)	昼間・夜間 ともに基準 値超過の 戸数(戸)
						昼間	夜間					
一般国道42号	2018.1.30~31	2	5.1	高松町	B	68	60	289	289	0	0	0
一般国道259号	2018.1.30~31	2	4.3	福江町	C	67	59	189	189	0	0	0
田原高松線	2018.1.30~31	2	4.9	田原町	B	66	60	489	488	0	0	1
六連三河田原停車場線	2018.1.30~31	2	3.7	神戸町	B	66	56	128	128	0	0	0
六連三河田原停車場線	2018.1.30~31	2	0.8	東赤石	B	65	58	256	240	0	16	0
蔵王山線※1	—	2	3.7	—	B	—	—	231	231	0	0	0
計	—	—	22.5	—	—	—	—	1,582	1565	0	16	1

※1 騒音発生強度の把握の方法を「4.交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法」とし、「面的評価支援システム操作マニュアル(本編)」および「自動車騒音常時監視報告要領」に則り、適切に評価、報告するものとする。

道路に面する地域に係る環境基準

地域類型		環境基準(L _{Aeq})		幹線交通を担う道路に近接する空間	
A	第1種低層住宅専用地域 第2種低層住宅専用地域	左記のうち、2車線以上の車線を有する道路に面する地域	昼間	60dB以下	昼間 70dB以下 夜間 65dB以下
	第1種中高層住宅専用地域 第2種中高層住宅専用地域		夜間	55dB以下	
B	第1種住居地域 第2種住居地域	左記のうち、2車線以上の車線を有する道路に面する地域	昼間	65dB以下	
	準住居地域 都市計画区域で用途地域の定められていない地域		夜間	60dB以下	
C	近隣商業地域 商業地域	左記のうち、車線を有する道路に面する地域	昼間	65dB以下	
	準工業地域 工業地域		夜間	60dB以下	

*車線とは、1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車線部分をいう。

*昼間:6時~22時、夜間:22時~翌日の6時

*個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあつては45dB以下、夜間にあつては40dB以下)によることができる。